

遺言

ゆいごん

この日は三日前に
亡くなった父親の
葬式でした

急性の病で発病から
わずか2週間で他界
してしまっただので

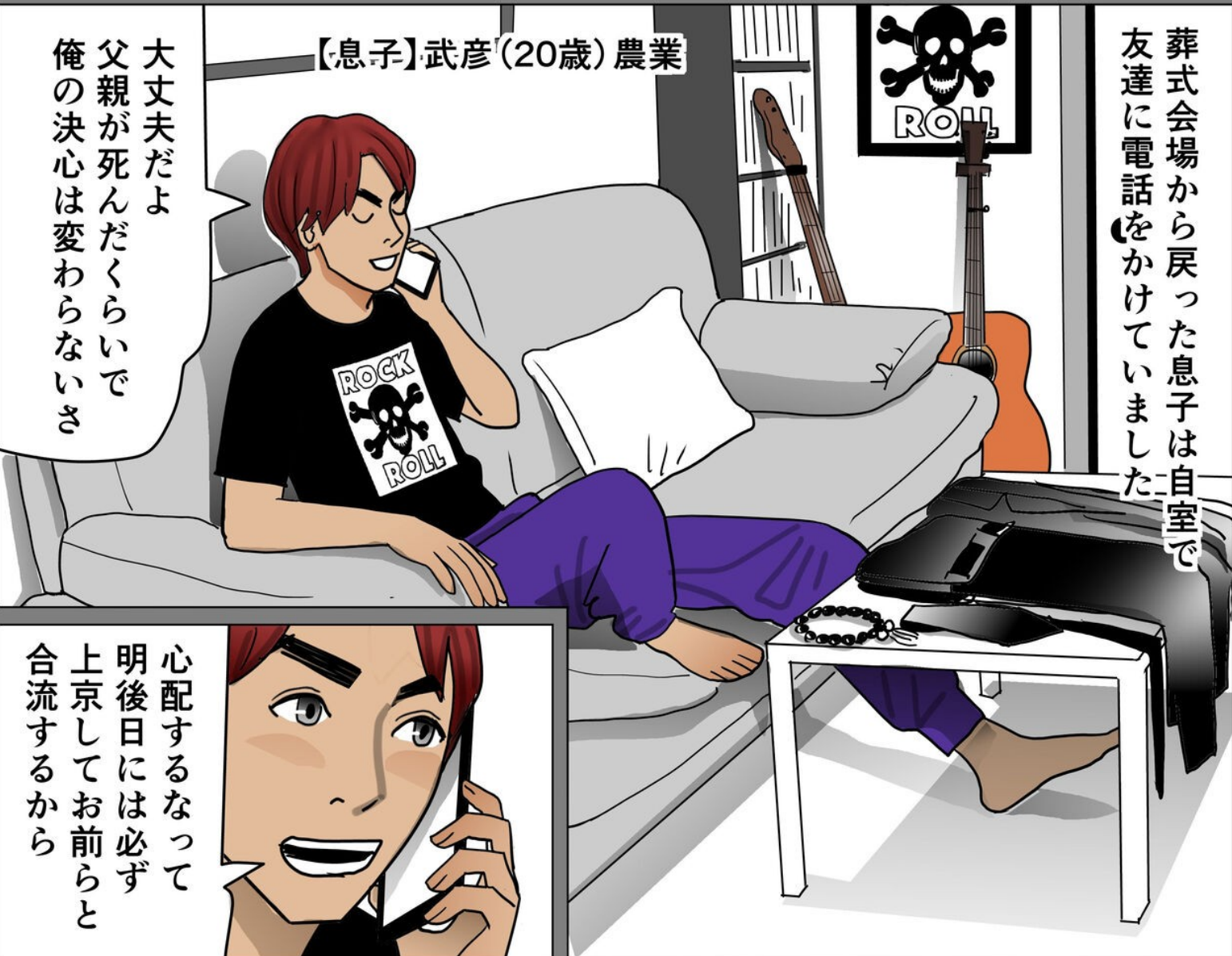
御霊燈

葬式会場から戻った息子は自室で
友達に電話をかけていました

【息子】武彦(20歳) 農業

大丈夫だよ
父親が死んだくらいで
俺の決心は変わらないさ

心配するなって
明後日には必ず
上京してお前らと
合流するから





あれ?



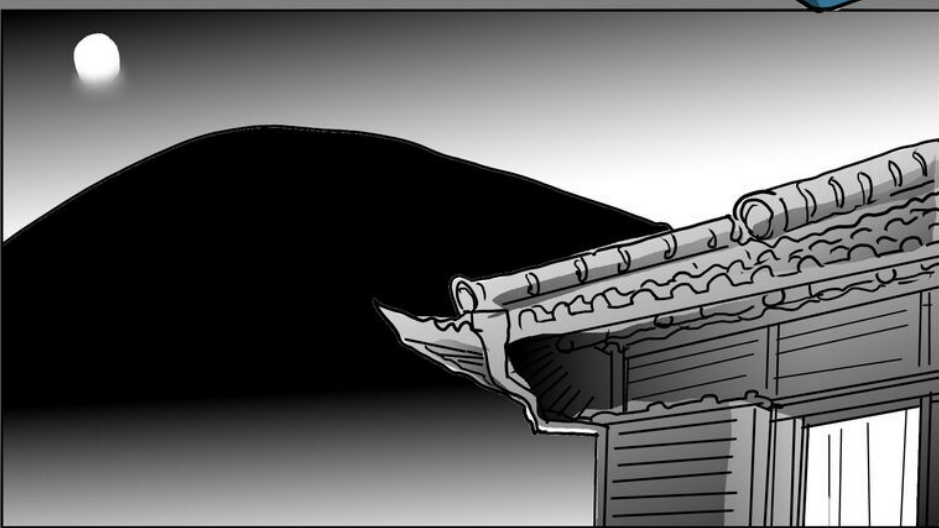
息子には友達とバンドを組んで
東京でデビューするという
計画があったのです



ゆいごんしょ
遺言書?

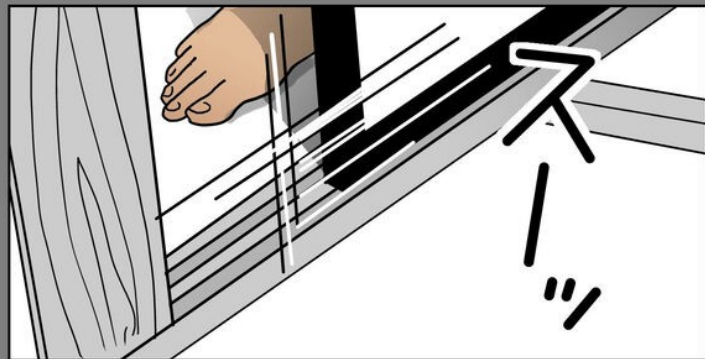


こんなカバン
見たことねーぞ



なっ

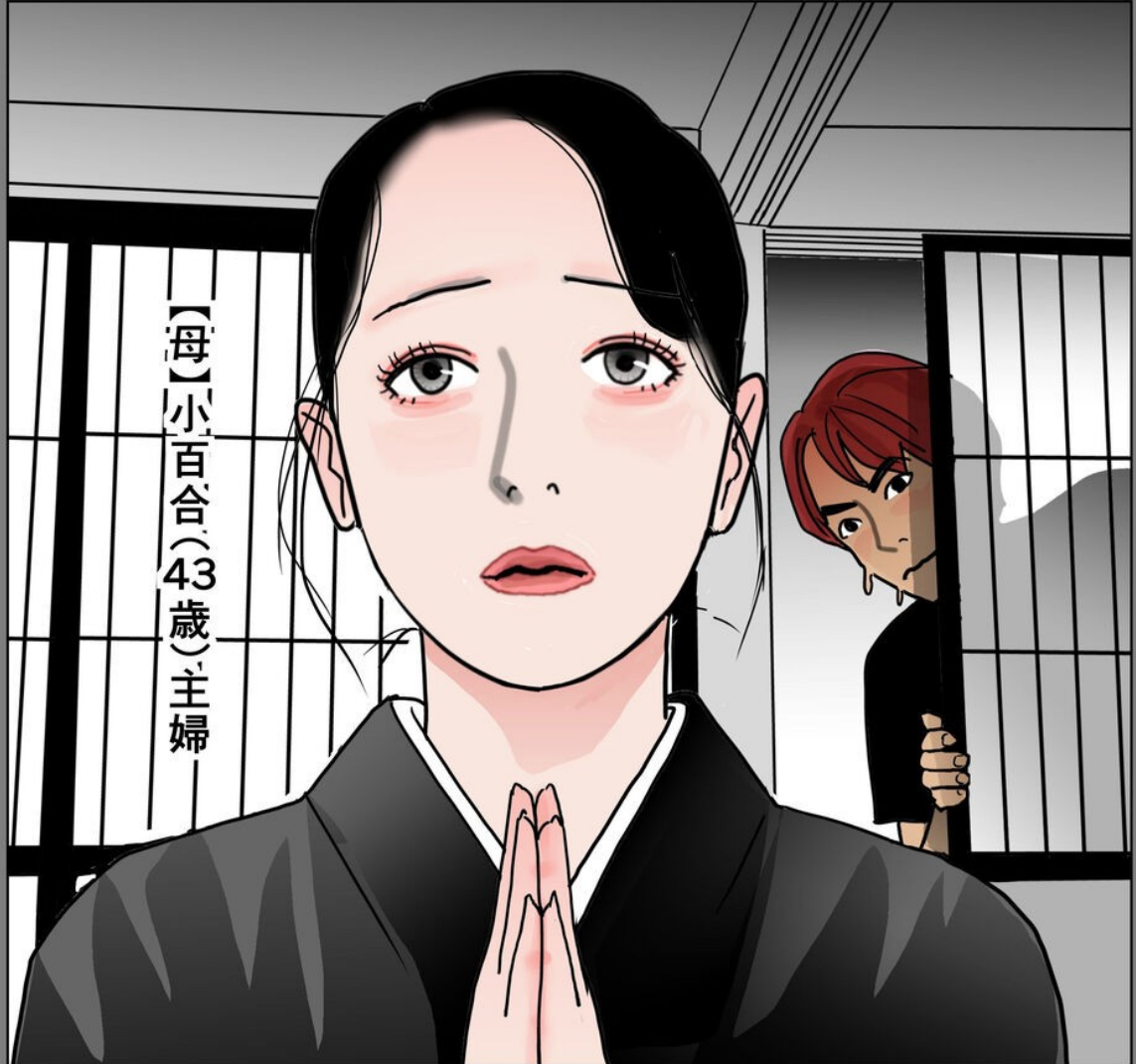
【父】圭介(享年51歳)農業



か：母さん…



どうしたの？



【母】小百合(43歳)主婦

これ父さんの遺言書：
俺の部屋の押し入れに
このカバンと一緒に
置いてあった



ゆいごんしょ
遺言書？



フッ



なっ



俺
遠慮なくいたただく
ことにしたから

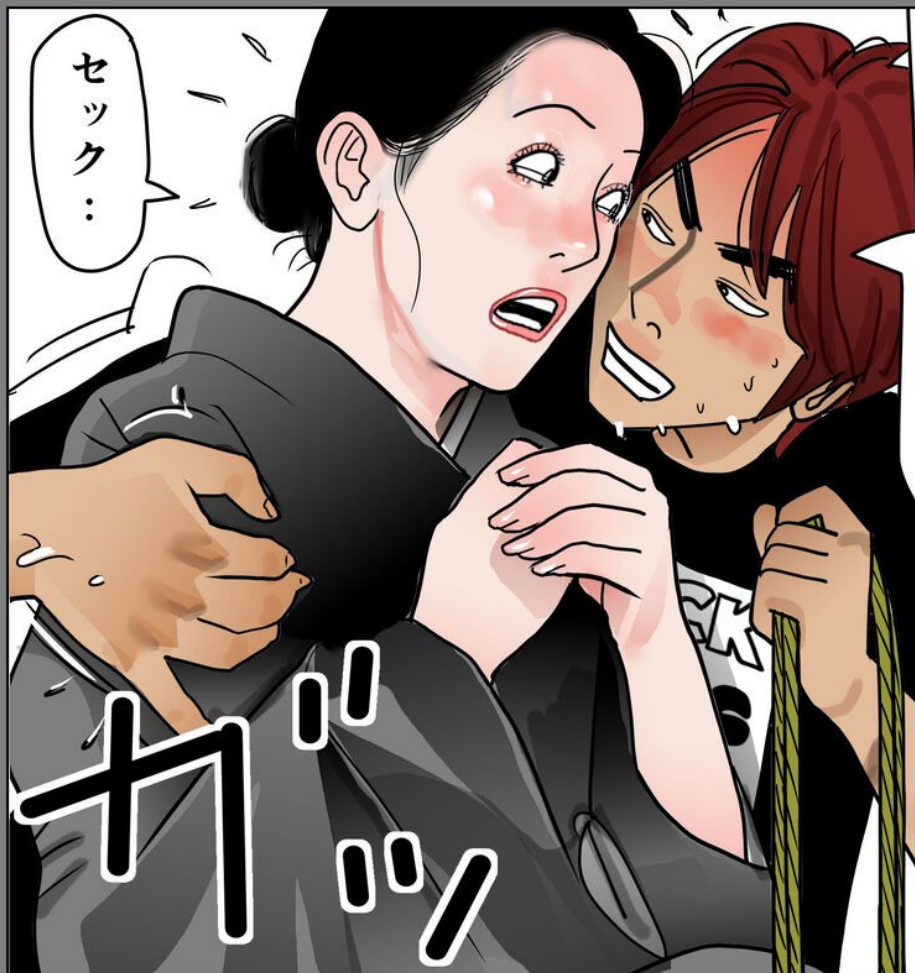
ガッ



何よ
これっ！

武彦へ
父さんはもう永くない
お前の母さんに対して
気持ちはお前がわかっている
父さんが死んだら
父さんをお前にやるから
母さんをお前にSEXして
好きなようにSEXして
いいぞ
父より

一緒に譲り受けたこのロープを使って母さんとセックスすることにしたからねっ！

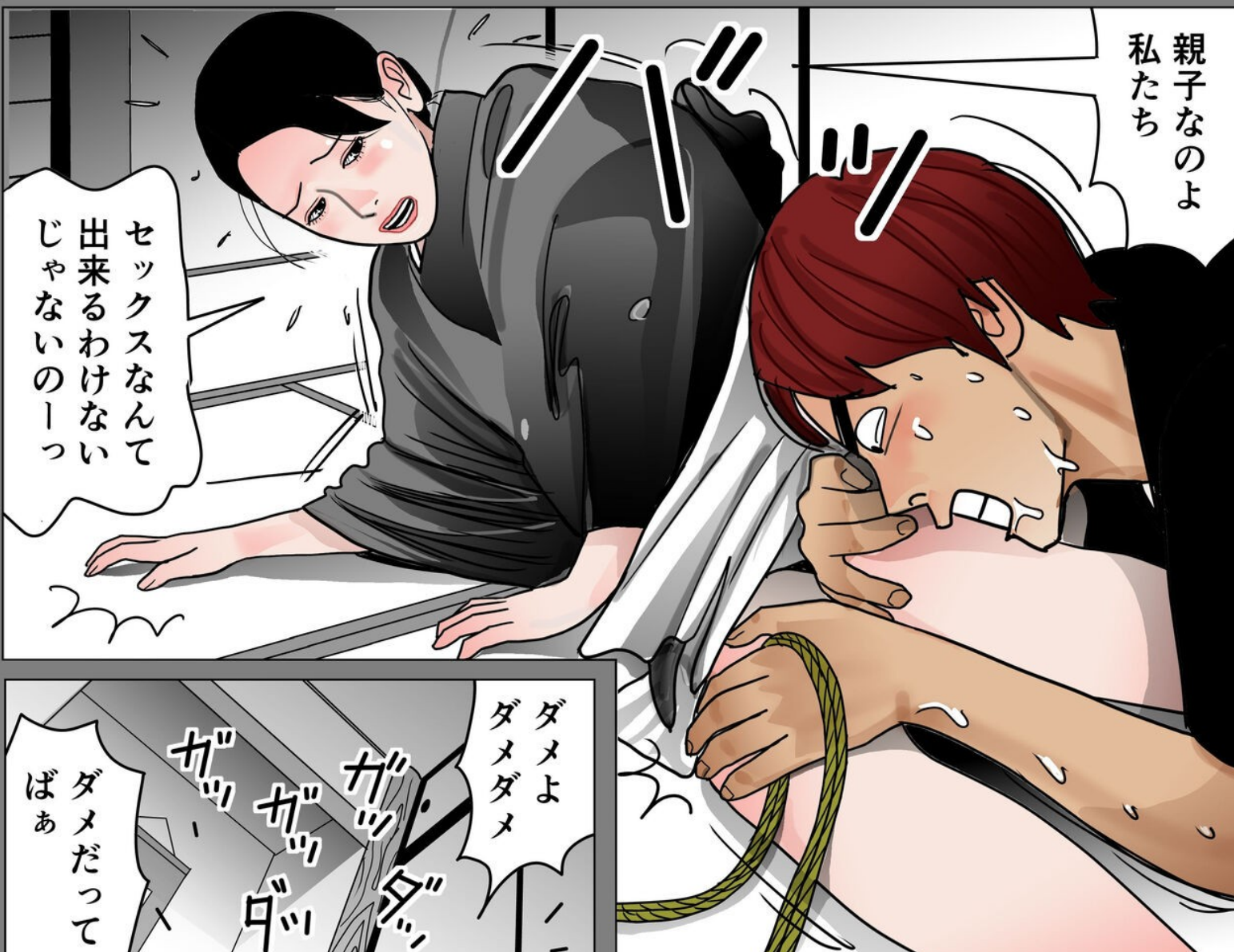


セック：

カッ

な：何をバカなっ

親子なのよ私たち

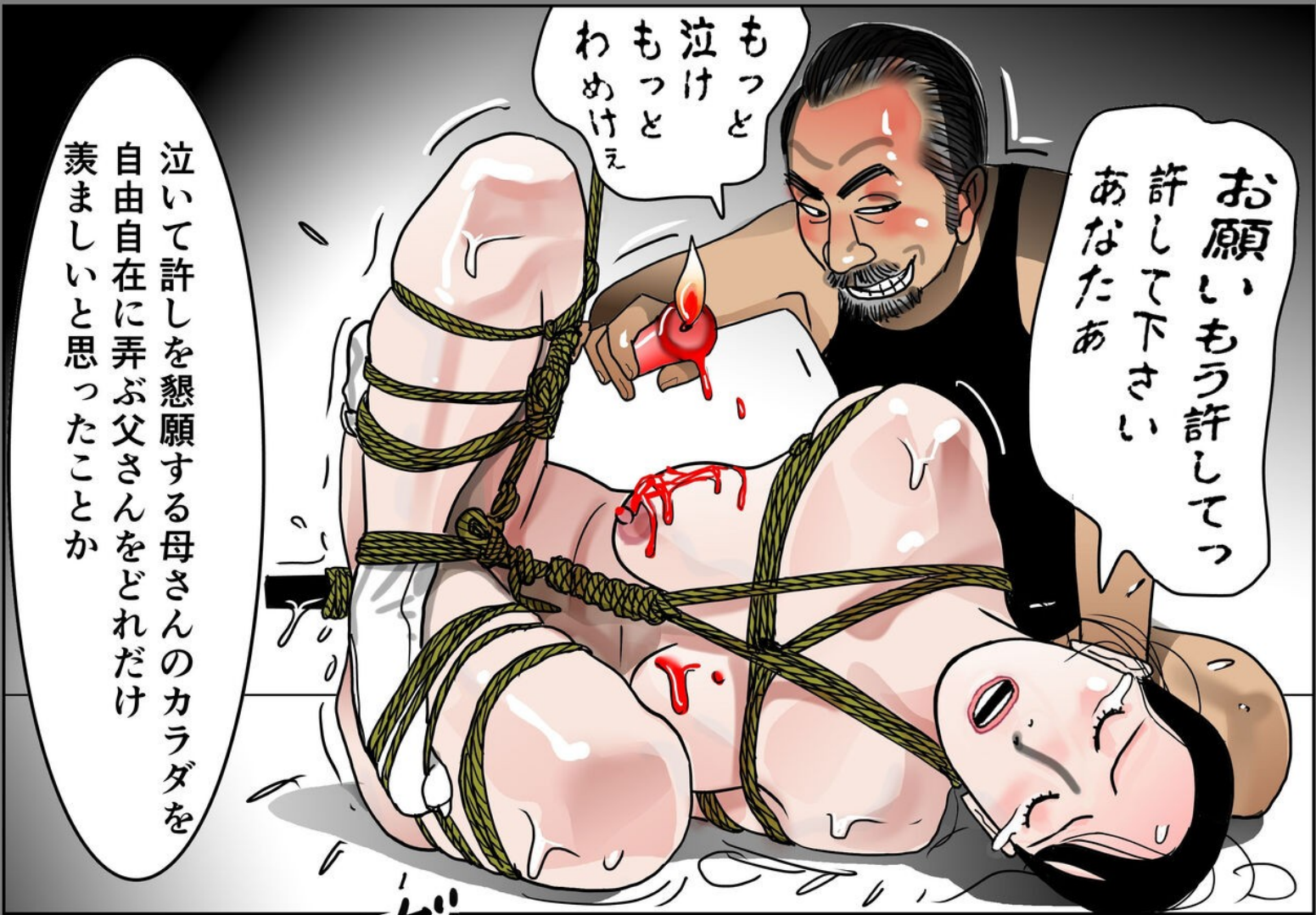


セックスなんて出来るわけないじゃないのーっ

ダメよダメダメ

ガッガッガッ

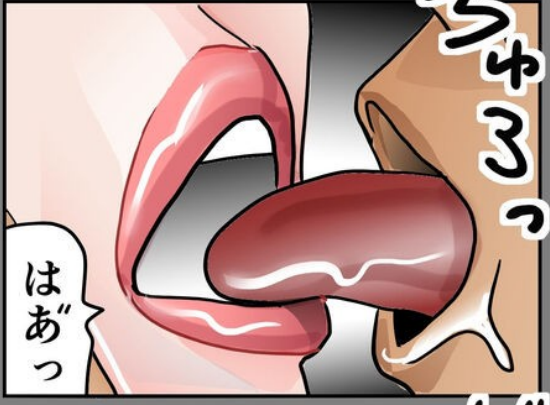
ダメだってばあ



お願いもう許してっ
許して下さい
あなたあ

もっど
泣け
もっど
わめけえ

泣いて許しを懇願する母さんのカラダを
自由自在に弄ぶ父さんをどれだけ
羨ましいと思っただことか



はあっ



うんーっ



でもこれからは
俺のもんだ：

ガッ

ぐいっ

このでっかい
お尻だって
全部俺だけの
ものだからな！

あぁっ

ちゅっ
ちゅっ

お願い武彦
もう許してえ

カッ

グッ
グッ

お母さんを
許してえ

ああ：
たまんないよ
その泣き顔
その涙っ

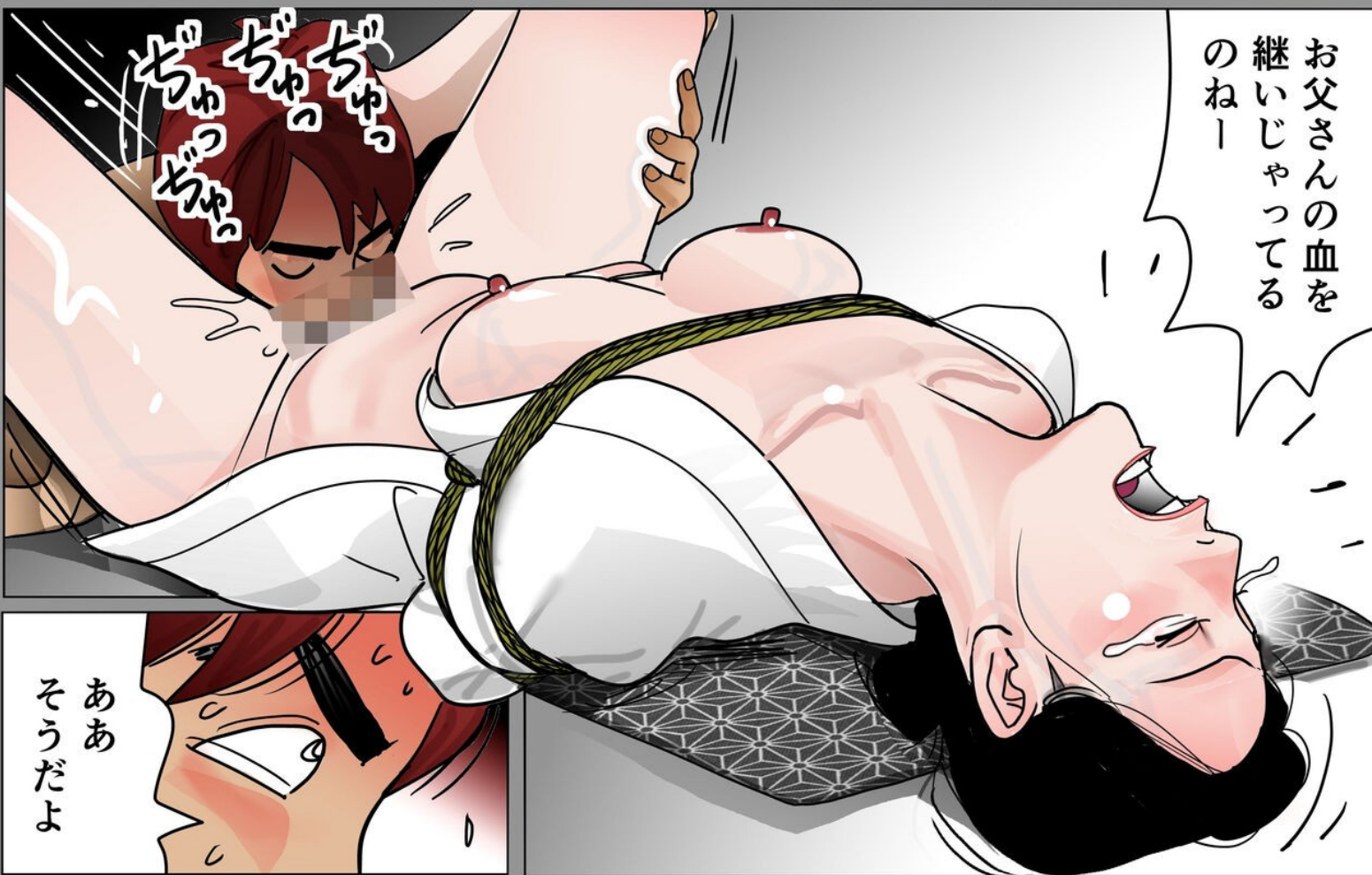


もう
おかしくなるほど
興奮しちゃうーっ
キッ



や：やっぱり
あんたも
ドSなのねっ：

お父さんの血を
継いじゃってる
のねー



ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅっ
ぢゅっ

ああ
そうだよ



だからドMの
母さんとは相性
バッチリなのさ♡



ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ

うごっ
おぼっ



ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ

あがっ



ウポッ



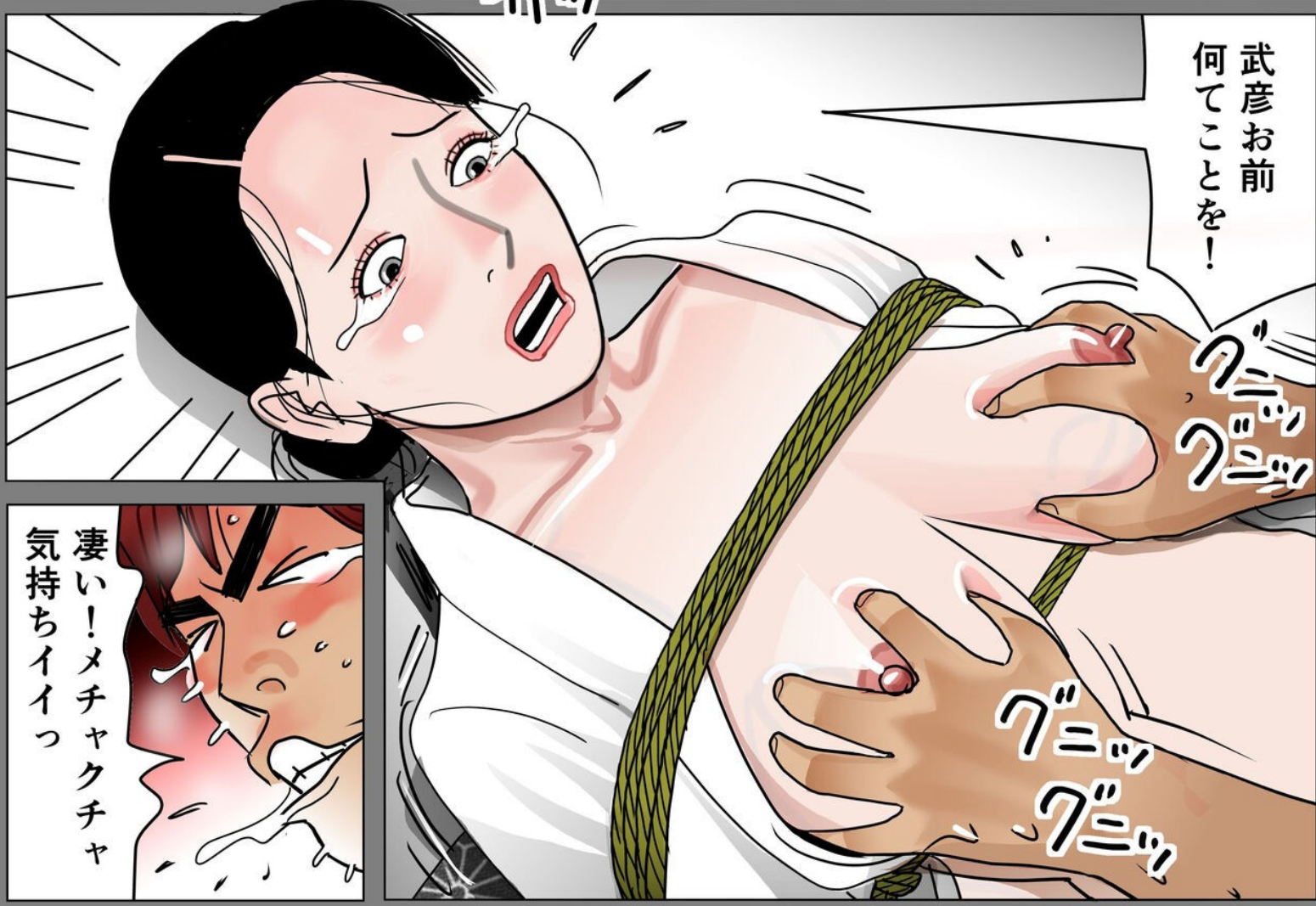
うごっ
おぼっ

ガッ
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ



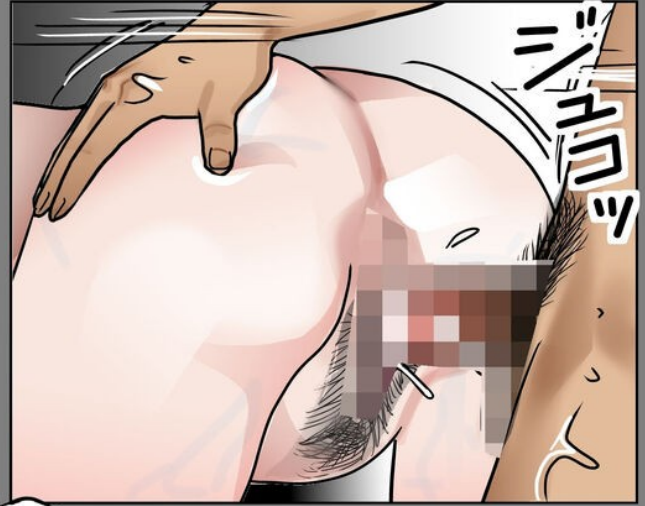
ガッ
ガッ
ガッ
ガッ

さあ
入れてやるぞ
母さん：





効く効く
効く効くーっ



あっあっあっ
あーっ



もう俺
イキそーっ

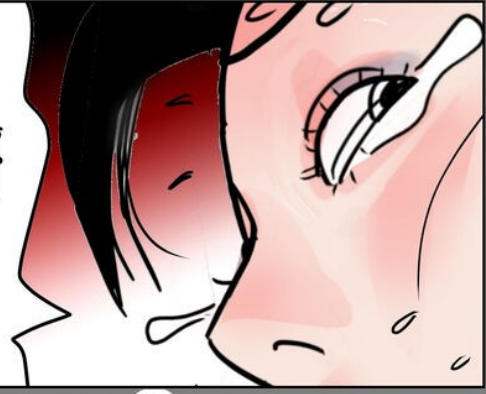
ダッ：



ダメよ武彦
それだけはっ

実の母子で
中出しだけはっ

お願い武彦
それだけは
許してえ

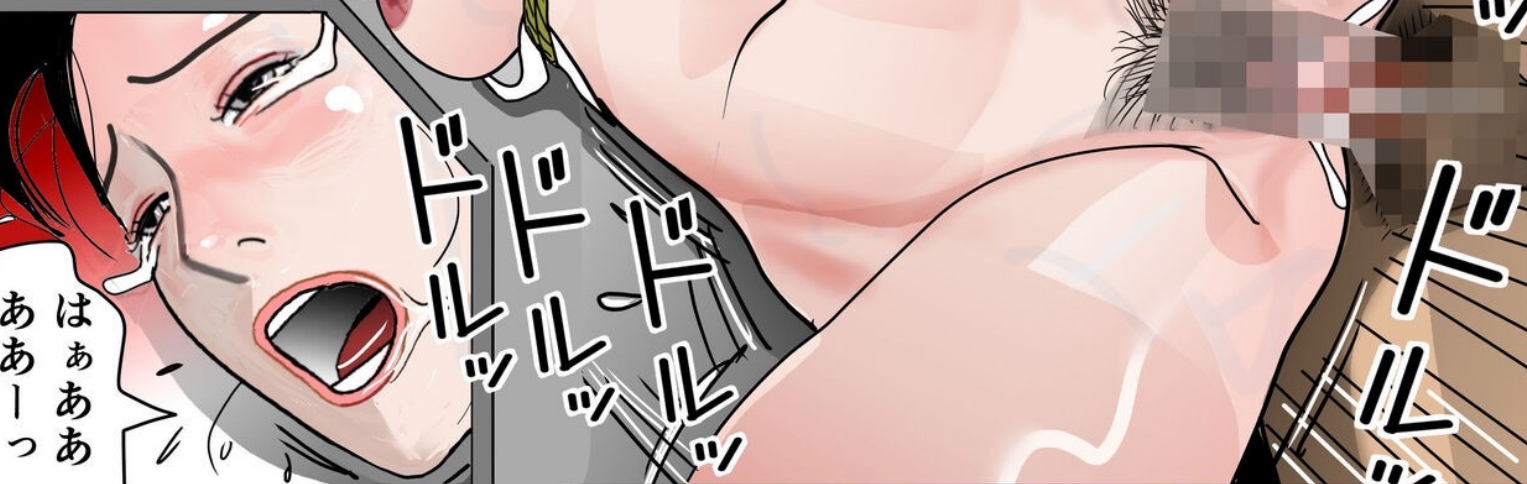


イクイク
イクイクーっ

おっおっ
おおーっ



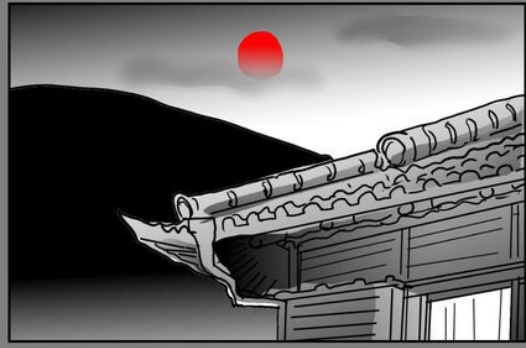
ひゅーっ



はあああ
ああーっ



本当にもう
最高だったよ
母さん



これからは毎晩一緒の
布団で寝て一日最低
3回は中出しSEX
するからなっ

な：何バカなこと
言ってるの：

あんた東京に出て
バンドするんでしょっ

こんな田舎で農家を継ぐ
なんて絶対イヤだって
言ってたじゃない

母さんが
手に入るんなら
話は別さ：

もともと俺は母さんが
父さんとSEXするのを
見るのが辛くてこの家を出る
決心をしたんだから

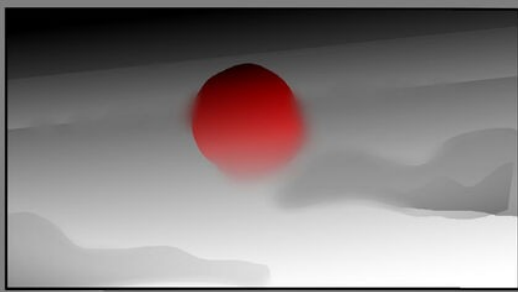
もう絶対
離れない

一生母さんのそばにいて
この柔らかい膣の中に
何万回も何十万回も
射精してやるからな！

そ：
そんなあ

お願い武彦許して
頂戴ちやうたいそんなことオ

ちゅちゅ



数日後：
：

